



# 老いて尚 なつかしき名の

## ははこぐさ 母子草 たかはまきよし 高浜虚子

母の深い思慕の念を抱く句です。

五月の第2日曜日「母の日」誕生には米国の2人の女性が関わっています。その一人が愛唱歌『リパブリック賛歌』の作詞者として知られる、ジュリア・ハウです。

詩人ハウは社会改革家で、奴隷解放や反戦運動、「赤ん坊のために、きれいなミルクを」といった運動も進めた人です。母の深い愛は平和と命のシンボルでもあります。

母親が惜しみなく愛情を注ぎ、子どもたちは感謝し追慕するその心が、この虚子の句には表れています。

一番苦手なのは  
詩…サトウハチロー

一番苦手なのは  
おふくろの涙です  
何もうわずに

こつちを見ている  
涙です

その涙に

灯り（あかり）が

ゆれたりしていると

そうして

灯り（あかり）が

だんだんふくらんでくると

：これが一番苦手です

（詩集「おかあさん」より）

小さい頃、してはいけない

と分かっていたながら、つい悪い

いことをしてしまったとき、

「ごめんなさい」と素直に謝

るときと、「私はやってない」

「ほくだけじゃない」と言い

訳をするときがありました。

自分がしたことの善し悪し

は分かっているのに、プライ

ドもあつてなかなか素直に認

めることができないこともあ

りました。

そんなとき、思わず目にす

る母の涙は父の鉄拳よりも心

が痛みました。

それは、母と子がしっかり

した信頼関係に裏打ちされて

いるからこそです。



指宿市長  
豊留悦男

「母の日」。母さんにとって我が子はどれほど大切な存在かを語って聞かせたりする「瞬間」をとってみてはいかがでしょうか。

さて、ハハコグサ（母子草）は4月から6月に咲くキク科の植物です。人里の道端にひっそり咲いています。

花言葉は「無償の愛」。小さな花がつぶつぶになつて固まって、薄黄色の小さな花を咲かせます。

母の日は、自分の来し方を振り返り感謝する日です。やがて子どもが大人になり、小さい頃の思い出に涙するときを思いながら…。

時は流れ、人は去りゆくと  
も親子の思慕の情は永遠です。